



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日
上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
 コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画グループ (氏名) 大戸 章浩 TEL 084-923-5552
 定時株主総会開催予定日 2026年6月24日 配当支払開始予定日 2026年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	25,409	6.0	1,071	40.0	1,418	29.7	909	21.5
2025年3月期	23,969	3.0	765	△0.2	1,093	5.4	748	△2.6

（注）包括利益 2026年3月期 929百万円（16.2%） 2025年3月期 800百万円（△12.0%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	73.80	—	12.0	6.5	4.2
2025年3月期	60.86	—	10.8	5.7	3.2

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 273百万円 2025年3月期 248百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	24,145	7,936	32.9	643.39
2025年3月期	19,655	7,223	36.7	586.84

（参考）自己資本 2026年3月期 7,936百万円 2025年3月期 7,223百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,971	△2,517	2,603	3,835
2025年3月期	838	△828	192	1,772

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00	221	29.6	3.2
2026年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00	271	29.8	3.6
2027年3月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00		29.6	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	6.3	1,150	7.3	1,500	5.7	1,000	9.9	81.12

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2026年3月期	13,495,248株	2025年3月期	13,495,248株
2026年3月期	1,159,218株	2025年3月期	1,186,818株
2026年3月期	12,327,334株	2025年3月期	12,301,246株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	928	5.1	260	21.0	356	6.5	335	15.6
2025年3月期	883	8.7	215	2.6	334	△3.5	290	△23.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	27.23	—
2025年3月期	23.61	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	14,412	4,194	29.1	340.04
2025年3月期	11,008	4,017	36.5	326.37

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,194百万円 2025年3月期 4,017百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 経営成績の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境は改善基調にあるものの、食料品価格の上昇、円安による輸入物価の上昇による実質賃金の伸び悩みが個人消費に影響を及ぼす一方で、企業の設備投資に持ち直しの動きが見えることなどにより、引き続き景気は緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、収束の見えないウクライナ情勢に加えて、年度後半に発生したイラン情勢など地政学リスクの高まりにより不透明感は以前よりも増しており、不確実性は一層高まっています。

この環境下において、当社グループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 — すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて、ブランド創造企業への挑戦を最優先課題とすると同時に、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化と諸施策を中心として成長の加速に取り組んでいます。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高25,409百万円（前期比6.0%増）、営業利益1,071百万円（同40.0%増）、経常利益1,418百万円（同29.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益909百万円（同21.5%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりです。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

(自販機運営リテイル事業)

自販機運営リテイル事業におきましては、メーカー商品の相次ぐ値上げや消費者の節約志向による自販機離れによる販売数の減少が加速、業界再編の機運が高まっています。そのような環境下当社グループでは、設置条件の改善や不採算機の引揚など、利益率の改善に向けて引き続き取り組みを続け、業界再編の受け皿となる収益基盤の拡充に注力しています。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は13,892百万円（前期比2.0%増）、セグメント利益は274百万円（同14.3%増）となり増収増益を維持いたしました。

(飲料製造事業)

飲料製造事業におきましては、世界的な抹茶ブームの恩恵を享受し、静岡ローストシステム㈱の茶葉加工が堅調に推移いたしました。酒類・清涼飲料の製造については、製造数量が徐々に増加し、業績は前年の利益水準を上回る水準まで回復いたしました。一方で、自社ブランド商品の拡販を中長期での最重要事項に位置づけ、デザインリニューアル、新商品の投入を積極的に行い、マーケティング・販売戦略を強化することで業績への寄与度を少しずつ高めています。

この結果、飲料製造事業の売上高は11,086百万円（前期比11.3%増）、セグメント利益は1,043百万円（同28.9%増）となりました。

(不動産運用事業)

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート㈱を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は142百万円（前期比0.8%増）、セグメント利益は220百万円（同1.0%増）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高247百万円を含めると390百万円となります。

(その他事業)

その他事業におきましては、東西の物流部門を強化すると共に、グループ内物流の内製化を進めており、徐々にその効果は業績への寄与につながっています。ロジックイノベーション㈱は、環境事業を2025年12月で終了し、物流効率化に経営資源を集中しております。

この結果、その他事業の売上高は288百万円（前期比14.3%増）、セグメント利益は52百万円（同48.8%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は24,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,490百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加2,063百万円及び投資有価証券の増加826百万円等によるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は16,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,776百万円増加いたしました。これは長期借入金の増加1,992百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加505百万円等によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は7,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ713百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する当期純利益による増加909百万円等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,063百万円増加し、当連結会計年度末には3,835百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,971百万円（前期は838百万円の獲得）となりました。これは主に減価償却費836百万円、税金等調整前当期純利益1,219百万円及び仕入債務の増減額499百万円等により資金を獲得する一方、持分法による投資利益273百万円、売上債権の増減額586百万円により資金を使用したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,517百万円（前期は828百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,970百万円及び投資有価証券の取得による支出577百万円等により資金を使用したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、2,603百万円（前期は192百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増額460百万円、長期借入による収入3,920百万円により資金を獲得する一方、長期借入金の返済による支出1,421百万円及び配当金の支払額234百万円により資金を使用したことによるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、仕入商品や原材料・資材・燃料費の値上がりが続く中、グループ各社が得意分野を伸ばすとともに、相互のシナジー効果を高めブランド価値の創造と生産性の向上、適正な価格設定に取り組み、収益性の向上に取り組みます。

また、2026年3月5日開示の「当社連結子会社による株式取得（孫会社化）に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社であるアシード株式会社が、自販機の運営事業を展開する有限会社日東ベンディング中国の発行済株式の全株式を取得し、2026年4月1日付で子会社化いたしました。アシード株式会社の営業エリアとも大部分が重複しており、各拠点の効率化と収益の底上げに資することから、当社グループの自販機運営リテイル事業の成長に寄与することが期待されます。

このような取組方針のもと、翌連結会計年度（2027年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高27,000百万円、営業利益1,150百万円、経常利益1,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識したうえで、事業の継続的な成長や資本効率の改善等による株主価値の向上に努めるとともに、配当性向30%程度を基準とし、業績向上に応じて増配を行う累進配当を継続していくことを基本方針としております。

当連結会計年度の期末配当金につきましては1株当たり12円を予定しております。次期の配当につきましては、中間配当及び期末配当として1株当たり12円とし、年間配当金は1株当たり24円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの外国人株主比率は現在0.19%であり、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び他社のIFRS採用動向を踏まえ、IFRSの適用について検討をすすめていく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,772	3,835
受取手形、売掛金及び契約資産	3,533	4,119
商品及び製品	1,017	990
原材料及び貯蔵品	337	397
前払費用	159	169
その他	686	626
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	7,505	10,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,294	6,521
減価償却累計額	△3,644	△3,769
建物及び構築物 (純額)	2,650	2,751
機械装置及び運搬具	6,625	6,702
減価償却累計額	△4,172	△4,156
機械装置及び運搬具 (純額)	2,452	2,545
工具、器具及び備品	292	315
減価償却累計額	△242	△264
工具、器具及び備品 (純額)	49	51
土地	3,812	3,883
リース資産	1,193	746
減価償却累計額	△869	△503
リース資産 (純額)	324	243
建設仮勘定	335	1,228
有形固定資産合計	9,626	10,704
無形固定資産		
のれん	131	75
ソフトウェア	49	36
リース資産	13	8
その他	28	28
無形固定資産合計	223	148
投資その他の資産		
投資有価証券	1,650	2,477
長期前払費用	148	114
繰延税金資産	115	210
その他	427	396
貸倒引当金	△42	△45
投資その他の資産合計	2,299	3,153
固定資産合計	12,149	14,006
資産合計	19,655	24,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,734	3,233
短期借入金	2,580	3,040
1年内返済予定の長期借入金	1,179	1,685
リース債務	115	87
未払金	809	844
未払法人税等	108	292
未払消費税等	188	296
賞与引当金	200	219
その他	658	783
流動負債合計	8,575	10,483
固定負債		
長期借入金	3,185	5,177
リース債務	235	178
再評価に係る繰延税金負債	35	35
退職給付に係る負債	159	2
その他	240	331
固定負債合計	3,856	5,725
負債合計	12,431	16,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,036	1,040
利益剰余金	6,051	6,726
自己株式	△618	△604
株主資本合計	7,267	7,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	177
土地再評価差額金	△364	△364
為替換算調整勘定	202	162
その他の包括利益累計額合計	△44	△24
純資産合計	7,223	7,936
負債純資産合計	19,655	24,145

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	23,969	25,409
売上原価	14,859	15,685
売上総利益	9,109	9,723
販売費及び一般管理費	8,344	8,652
営業利益	765	1,071
営業外収益		
持分法による投資利益	248	273
投資事業組合運用益	25	13
その他	145	159
営業外収益合計	419	445
営業外費用		
支払利息	40	66
その他	50	31
営業外費用合計	91	98
経常利益	1,093	1,418
特別利益		
投資有価証券売却益	54	1
特別利益合計	54	1
特別損失		
固定資産除却損	52	16
投資有価証券評価損	7	—
減損損失	119	183
特別損失合計	179	199
税金等調整前当期純利益	968	1,219
法人税、住民税及び事業税	268	415
法人税等調整額	△48	△105
法人税等合計	220	310
当期純利益	748	909
親会社株主に帰属する当期純利益	748	909

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	748	909
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	59
土地再評価差額金	△1	—
持分法適用会社に対する持分相当額	69	△39
その他の包括利益合計	51	20
包括利益	800	929
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	800	929

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798	1,034	5,523	△630	6,726
当期変動額					
剰余金の配当			△221		△221
親会社株主に帰属する当期純利益			748		748
自己株式の処分		2		11	13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	527	11	541
当期末残高	798	1,036	6,051	△618	7,267

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	134	△363	133	△96	6,630
当期変動額					
剰余金の配当					△221
親会社株主に帰属する当期純利益					748
自己株式の処分					13
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16	△1	69	51	51
当期変動額合計	△16	△1	69	51	593
当期末残高	117	△364	202	△44	7,223

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798	1,036	6,051	△618	7,267
当期変動額					
剰余金の配当			△234		△234
親会社株主に帰属する当期純利益			909		909
自己株式の処分		3		14	17
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	3	675	14	693
当期末残高	798	1,040	6,726	△604	7,960

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	117	△364	202	△44	7,223
当期変動額					
剰余金の配当					△234
親会社株主に帰属する当期純利益					909
自己株式の処分					17
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	59		△39	20	20
当期変動額合計	59	—	△39	20	713
当期末残高	177	△364	162	△24	7,936

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	968	1,219
減価償却費	795	836
減損損失	119	183
のれん償却額	28	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20	18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	△156
支払利息	40	66
投資事業組合運用損益 (△は益)	△25	△13
持分法による投資損益 (△は益)	△248	△273
投資有価証券売却損益 (△は益)	△54	△1
固定資産除却損	52	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△50	△586
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△104	△32
長期前払費用の増減額 (△は増加)	66	9
その他の資産の増減額 (△は増加)	△111	110
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61	499
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19	108
その他の負債の増減額 (△は減少)	△216	176
その他	△4	△3
小計	1,203	2,203
利息及び配当金の受取額	73	72
利息の支払額	△42	△70
法人税等の支払額	△394	△233
営業活動によるキャッシュ・フロー	838	1,971
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△898	△1,970
有形固定資産の売却による収入	10	6
無形固定資産の取得による支出	△20	△3
固定資産の除却による支出	△16	△2
投資有価証券の取得による支出	△50	△577
投資有価証券の売却による収入	106	3
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	40	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△828	△2,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250	460
長期借入れによる収入	1,700	3,920
長期借入金の返済による支出	△1,374	△1,421
リース債務の返済による支出	△161	△120
配当金の支払額	△221	△234
財務活動によるキャッシュ・フロー	192	2,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	201	2,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,570	1,772
現金及び現金同等物の期末残高	1,772	3,835

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第3四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した VIHAMARK GROUP JOINT STOCK COMPANY を持分法適用関連会社としております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自販機運営と飲料製造を中心とした複数の事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が単一もしくは複数の事業に従事する事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「自販機運営リテイル事業」、「飲料製造事業」、「不動産賃貸事業」及び「その他事業」の4つを報告セグメントとしております。

なお、それぞれの報告セグメントに含まれる主要な製品・商品及びサービスは以下のとおりであります。

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| (1) 自販機運営リテイル事業 | : カップ飲料、缶・ボトル飲料、紙パック飲料、食品等の自動販売 |
| (2) 飲料製造事業 | : 清涼飲料、ソフトパウチ飲料、低アルコール飲料、茶葉等の製造・販売 |
| (3) 不動産運用事業 | : 不動産賃貸 |
| (4) その他事業 | : 倉庫、物流、環境 |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	不動産運用事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,614	9,961	140	252	23,969	—	23,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	133	231	112	480	△480	—
計	13,618	10,094	371	365	24,450	△480	23,969
セグメント利益	240	809	218	35	1,303	△537	765
セグメント資産	3,830	11,458	1,823	894	18,007	1,647	19,655
その他の項目							
減価償却費	70	642	10	53	776	18	795
のれんの償却額	7	17	—	3	28	—	28
減損損失	16	—	—	102	119	—	119
持分法適用会社への 投資額	—	1,105	—	—	1,105	—	1,105
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	249	732	—	0	982	66	1,048

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△480百万円は、セグメント間の内部取引消去であります。
 - (2) セグメント利益の調整額△537百万円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額1,647百万円は、各セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、余剰運転資金(預金及び有価証券)及び管理部門にかかる資産等であります。
 - (4) 減価償却費の調整額18百万円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額66百万円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	不動産運用事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,892	11,086	142	288	25,409	—	25,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	107	247	170	529	△529	—
計	13,895	11,194	390	459	25,939	△529	25,409
セグメント利益	274	1,043	220	52	1,590	△519	1,071
セグメント資産	4,012	14,159	1,790	916	20,877	3,267	24,145
その他の項目							
減価償却費	57	693	20	44	815	21	836
のれんの償却額	1	15	—	3	21	—	21
減損損失	2	180	—	—	183	—	183
持分法適用会社への 投資額	—	1,859	—	—	1,859	—	1,859
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	41	1,997	7	12	2,059	0	2,059

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△529百万円は、セグメント間の内部取引消去であります。
 - (2) セグメント利益の調整額△519百万円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額3,267百万円は、各セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、余剰運転資金(預金及び有価証券)及び管理部門にかかる資産等であります。
 - (4) 減価償却費の調整額21百万円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額0百万円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	586.84円	643.39円
1株当たり当期純利益	60.86円	73.80円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	748	909
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	748	909
普通株式の期中平均株式数 (千株)	12,301	12,327